

第5回環境化学物質合同大会に参加して



測定随時受付中

ちくりん舎は、行政から独立して放射能汚染を監視・測定、情報発信する市民団体・個人の共同ラボです。

市民放射能監視センター

●共同ラボ & 事務所

〒190-0181

東京都西多摩郡日の出町

大久野 7444

●電話 & FAX

042-519-9378

●電子メール

lab.chikurin@gmail.com

目次

●第5回環境化学物質合同大会に参加して 1

●映画「SOS サンオノフレ・シンдрーム—原子力の遺産—」上映会推進にご協力を 2

●総会の報告 3

●よもやま話 4

●会員募集 4

6月23日～26日の4日間にわたり長崎市「出島メッセ長崎」で第5回環境化学物質合同大会が開催されました。口頭発表1本とポスター展示1件を申請したところ両方とも受け付けられ、長崎に3泊4日で参加してきました。環境化学物質合同大会は、日本環境化学会と日本環境毒性学会が合同で毎年6月に開催しているようです。この学会については全く知らなかったのですが、高木基金の元選考委員で、各地での公害問題やごみ焼却による周辺環境問題などで活躍しておられる藤原寿和氏から、「リネン吸着法は単に放射能粉じん調査に使えるだけでなく、ごみ焼却場周辺での大気中浮遊塵の有害物質調査にも使える。リネン吸着法の意義を知らしめる良い機会だ」との熱いコールを受けて参加したものです。このような貴重な機会を与えて下さったことに、改めて感謝したいと思います。

< 700人以上が登録した巨大な学会 >

参加してみて先ず驚いたのは、この合同大会が700人以上もの参加登録がある巨大学会で、しかも熱気と活気に満ちていた点です。初日は9時から受付開始、9時30分からセッション開始予定ということで、10分くらい前に受付に着いたのですが既に受付カウンター前には200人くらいの列ができていました。初日の受付時に藤原寿和氏と東京農工大の渡邊泉教授（環境毒性学・環境化学）

にお会いできて、緊張がぱっとほぐれました。初めての学会でしかも長崎と言う遠方の地で知己とお会いできるのはやはりうれしいことです。

渡邊泉先生のお話では、福島原発事故直後は放射能関連の発表も多かったのですが、最近では数えるほどしかない、とのことでした。

< リネン吸着法について口頭発表 >

私の口頭発表は初日の午前のセッションの中ほどでした。5会場に分かれ同時並行で行われるセッションの内の「環境媒体における元素の動態・発生源・処理技術」という会場でした。「リネン吸着法（Linen Adsorption Method）による大気中セシウム粉塵濃度測定の絶対値評価」と言うタイトルで発表したのですが、大気中の微小粒子をリネン布が捕捉する原理とエアダスト・サンプラーによる強制吸引によるフィルタへの粒子の捕捉原理に関連する、どちらかと言えば物理的な話であり、聴衆は大会の性格上、化学の専門家が多くあまり上手く伝わらなかったのかな、という反省があります。

質問では「大気中のセシウム粉じんとは、土壌から舞い上がる粉塵のことか」と聞かれ、とっさに「そうです」と答えて、あとはフィルタへの粒子の捕捉原理を説明してしまいました。後で「土壌から舞い上がる粉塵ではありません。放射能ごみ焼却で排ガス中に含まれ大気中に

拡散する微小粉塵もあります」と答えるべきだったと反省しています。相手の質問の意図を正確に捉えて答えることの重要性を改めて認識しました。

< 50 年後に公園表土から高濃度クロムを検出 >

同じセッションで興味深い報告がありました。50 年前に六価クロム（発がん性があり、吸い込むと呼吸器障害を起こす）を含むクロム鋼滓処理が行われ、現在公園として使われている場所を 10 メートルメッシュで表土の調査をしたところ、なんと公園内の一部で高濃度の六価クロムが検出されたという報告です。その分析結果では、検出された場所は公園内でも高度が低い場所であり、地下水による移動と毛細管現象により六価クロムが表土まで吸い上げられたと推定した、という報告です。

福島原発事故処理で除染で生じた汚染土を「復興再生土」として公共工事などで「再利用」する計画があります。この汚染土が、放射性物質として扱わなくて良いレベルである 100Bq/kg まで減衰するのに、190 年かかります。僅か 50 年でこのようなことが起こるという事実は「復興再生土」の「復興再生利用」に反対する強い根拠となります。なんと、この報告は冒頭に紹介した渡邊泉教授のゼミのメンバーの発表でした。

< 環境放射能学会との温度差に改めて驚く >

4 年前から、つくば市で行われる環境放射能研究会（毎年 3 月開催）に口頭発表やポスター発表を申請し、毎回参加しています。今回、初めて参加した環境化学合同大会は、規模が大きいだけでなく、質的な違いを感じました。若い学生や研究者、特に女性研究者が目立ち（ざっとした見た感覚で半分は女性）、主流のテーマは PFAS、マイクロプラスチックが中心で、それらの環境における拡散実態、測定方法や精度アップの研究が目白押しでした。意見交換なども活発に行われ、環境放射能研究会との落差に驚きました。環境放射能研究会は参加登録が 150 名程度でしょうか。セッションは 1 会場のみのコンパクトなものです。ほとんど男性研究者で女性研究者は数えるほどしかいません。また発表内容も縦割りの細かい領域の研究で、質疑も不活発です。この落差は何なのでしょうか。

政府は GX、脱炭素などの名目で原発回帰を明確にしていますが、やはり原発技術に明るい未来や魅力を感じる人が少ないというのが大きな要因と感じました。更に踏み込んで言えば、原発と核兵器は表裏一体です。つまりは政府の姿勢や統制による自由な発言や研究環境がない、という深い背景を見てしまうのは考えすぎでしょうか。

ドキュメンタリー映画

サンオノフレ・シンドローム - 原子力の遺産 - 上映の推進にご協力を

「日本で SOS 上映を進める会」（以下、進める会）が、映画「SOS サンオノフレ・シンドローム—原子力の遺産—」の各地での上映企画を呼びかけている。進める会は、「放射能拡散に反対する会」*の有志が中心となり立ち上げた。

サンオノフレ原発は米西海岸ロサンゼルスから南東約 100km の海岸沿いにある。15 年前の福島原発事故の悲惨な実態は同原発周辺の住民をも震

撼させた。住民は、放射能漏れ事故や数々の問題を抱え内部告発も多かった「サンオノフレ原発を廃炉に」を合言葉に立ち上がり、専門家を呼んでの学習会や、日本から菅直人氏（事故当時の首相）を招聘して報告会、同原発を運営するエジソン社（以下 SCE 社）幹部を呼んでの説明会等を重ね、住民運動を組織し、2013 年ついにサンオノフレ原発を廃炉に追い込んだ。

ところが問題はこれで終わらなかった。SCE 社は使用済み核燃料や超高濃度の放射性廃棄物を海岸からわずか数十メートルの核燃料プールに放置したまま、安全な遠隔地に移設する計画も全くなことが判明したのである。ドキュメンタリーの最後のメッセージは強烈だ。「廃炉は問題の始まりに過ぎなかった」と。

進める会はこの映画こそ、各地でこれから始まろうとしている福島原発事故による汚染土（除去土壌）の「復興再生利用」＝放射能のばらまきに通ずる重要な問題提起をしていると直感した。進める会メンバーの米国在住の友人が、この映画の日本語版字幕作成に関わっていたこともあり、本作品の監督であるメアリー・ベスと進める会でオンライン会議を行い、福島原発事故の後始末の実態の共有や日本でこの上映を進めることの意義を確認した。ベス監督をはじめとする制作スタッフとの間で、規模に関わらず、1 回の上映を 125 ド

ル（約 2 万円）という破格の条件で上映出来ることがまとまった。

進める会の上映推進プロジェクトは、今年 9 月から 2027 年 3 月末までの限定で進めることを確認している。進める会は日本語版字幕の専門用語の修正や日本語表現のブラッシュアップなど、最後の仕上げをボランティアで進めている。

進める会の情報は FB の公開グループ「日本で SOS 上映を進める会（CPSOS Japan）」で随時アップデートされる。問い合わせなども同ページから可能である。その他、X、Instagram、Note などからもアクセスできる。



進める会
<https://x.gd/07L6c>



予告編（80 秒）
日本語字幕付

* 環境省が進める復興再生土（汚染土）の再生利用に反対して行動を呼びかけている市民団体

第 13 回通常総会が行われました

5 月 23 日に開催した総会において、以下の報告、並びに計画が承認されました。

- ・ 2025 年度事業報告、会計報告
- ・ 2026 年度事業計画（案）、予算（案）

2026 年度は、「放射能汚染の再拡散を止めるための活動と発信」を基本方針とし、

- ① 放射能汚染拡散防止・被ばく低減のための活動
- ② 放射能汚染監視のための知識・技術レベルアップ
- ③ 福島原発事故の実態とちくりん舎活動の次世代への継承
- ④ 情報発信力の強化
- ⑤ ちくりん舎健全経営の維持に引き続き取り組んでいきます。

皆様の益々のご支援、ご協力をお願いいたします。

（理事長 浜田和則）

2025 年度決算報告

貸借対照表（2026 年 03 月 31 日現在）

科目	金額
I 資産の部	
【流動資産】	1,912,909
現預金	1,782,909
未収金	0
預け金	130,000
【固定資産】	225,664
工具器具備品	72,336
建物付属設備	153,329
資産合計	2,138,572
II 負債の部	
【流動負債】	70,000
借入金	0
未払金	0
未払法人税等	70,000
前受金	0
【固定負債】	
負債合計	70,000
III 正味財産の部	
前期繰越正味財産額	2,130,161
当期正味財産増減額	-61,588
正味財産合計	2,138,573

活動計算書（2025 年 4 月 1 日から 2026 年 31 日まで）

科目	金額
【経常収益】	
受取会費	418,000
受取寄附金	531,000
事業収益	1,301,500
その他収益（シンポ・総会等）	0
経常収益計	2,250,500
【経常費用】	
事業費	2,096,306
その他経費	2,096,306
管理費	147,503
その他経費	147,503
経常費用計	2,245,809
当期経常増減額	4,691
【経常外収益】	3,721
【経常外費用】	0
当期経常外増減額	3,721
税引前当期正味財産増減額	-79,956
法人税、住民税及び事業税	70,000
税引後当期正味財産増減額	-61,588
前期繰越正味財産額	2,130,161
次期繰越正味財産額	2,068,573

（単位：円）

ちくりん舎 よもやま話

大熊・双葉町へ通った18か月

リネン吸着法絶対値評価で2024年11月から2026年6月まで合計で13回ほど大熊町・双葉町へ通いました。大熊・双葉へ行くにはわが家から車で出発、途中でちくりん舎メンバーをピックアップしながら、圏央道、常磐道を通して片道7時間のドライブです。仕事そのものは、2人で2時間もあれば終わります。しかしそこから帰路に付くとその日のうちには帰宅できず、やむなく檜葉町あたりで宿泊。翌日もう一度現場で状況確認して昼前に帰路に付いても家に着くのは夕方。これではあまりに効率が悪いと、大熊町でブルーシートや工具などを置ける拠点を探しました。

それからは一人で品川駅から常磐線特急ひたちで11時頃にいわき着、レンタカーを借りて1時間のドライブで現場着。当日の内にいわきへ戻ってレンタカーを返却しても結局帰宅は無理。翌朝のひたちで帰路に付き、家に着くのは午後。いずれにせよ日帰りは不可能な遠さなのです。一人でのドライブや作業は難しくはないのですが、やはり寂しいものです。それを特に実感したのが冬11月頃から3月頃までの期間。4時頃には辺りはうす暗くなります。4時30頃にレンタカーでいわきへ向かう頃には真っ暗。そして幹線道路の国道6号線もほとんど往来は無くなります。大熊双葉町周辺には福島イノベーションコースト構想で、や

たらに大きな研究施設や起業を計画する人、企業のための立派なシェアオフィス兼休憩所などがありますが、どこも真っ暗です。民家らしき建物や復興住宅もありますが夜になると真っ暗です。つまり住んでいる人はほとんどいない、ということです。イノベ関連施設周辺では除染が徹底しており0.03-0.05 μ mSv/h、ところが関連施設から1-2km程度の道路脇で1.0-2.0Sv、高いところでは4 μ Sv/hのところもあります。帰還困難区域に囲まれてイノベ施設があるといった方が適切かもしれません。そんな中で車を運転していると、「花は咲けども」の歌が自然と出てきます。

♪原子の灰が降った街にも ♪変わらぬように
春は訪れ ♪もぬけの殻の 寂しい街で ♪それでも
草木は 花を咲かせる～ ♪花は咲けども、花は咲けども、
春を喜ぶ、人はなし ♪うらめし、悔しと 花は散る。
♪異郷に追われた 人のことなど ♪知ったことかと
浮かれる東京 ♪己の電気が 招いた悲惨に ♪♪痛
める胸さえ 持ち合わせぬか。(♪斜体部繰り返し)

※「花は咲けども」(山形県のアマチュアフォーク・グループ「影法師」)

これが15年経った今でも大熊双葉町、浜通りの今にもピッタリ合ってしまうのです。

(ちくりん舎 A・K)

ちくりん舎では会員・賛助会員を募集しています。メールまたは電話、FAXでお問合わせ下さい。

●正会員

団体会員 / 年会費 1 口 10,000 円 (何口でも)

個人会員 / 年会費 3,000 円

ちくりん舎の運営に関わり、ちくりん舎を支えていただく団体、個人です。

●賛助会員

年会費 1 口 1,000 円 (何口でも)

ちくりん舎の趣旨に賛同して支えていただく方々です。ちくりん舎のニュースレター、イベント案内等の情報が受け取れます。

★カンパも随時受け付けています。

<市民放射能監視センター口座>

●ゆうちょ銀行

振込口座 : 00150-5-418213

加入者名 : 市民放射能監視センター

シミンホウシャノウカンシセンター

●他行からの振込の場合

店名 ○一九 (ゼロイチキューウ店)

預金種目 : 当座

口座番号 : 0418213

Web サイトにてお待ちしております。

<http://chikurin.org/>

